

地域医療支援病院業務報告書

令和元年9月30日

群馬県知事 山本 一太 様

開設者 〒376-0024
住 所 群馬県桐生市織姫町6番3号
氏 名 桐生地域医療組合
管 理 者 荒木 恵 司 印
電話番号 (0277)44-7171 (代)

医療法第12条の2の規定により、平成30年度の業務に関して下記のとおり報告します。

記

1 病院の開設者の住所及び氏名

住 所	〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
氏 名	桐生地域医療組合

注 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記載すること。

2 病院の名称

桐生厚生総合病院

3 病院の所在地

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号 電話 (0277) 44-7171 (代)
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	床	床
-	4	-	-	467	471

5 病院の施設の構造設備

施設名	設備概要
救急治療室	(主な設備) 人工呼吸器、心電計、超音波診断装置、生体情報モニタ、多用途パンプレーサー、除細動装置、経皮的血中ガス分析装置及びパルスオキシメーター
手術室	6室 (主な設備) YAG レーザー装置、ELVeS レーザー装置、電気メス、手術顕微鏡、无影灯、各種手術台、全身麻酔器、腹腔鏡下手術装置、内視鏡下手術装置、外科用X線 TV 装置、超音波白内障手術装置、超音波双方向血流装置、経皮酸素ガス分圧測定装置、生体情報モニタ、呼吸監視装置、ステルスステーションシステム S7 (0-arm2・専用手術台含)、コア電動式骨手術装置
集中治療室 (ICU/CCU)	病床数 6床 (主な設備) ICUベッド、自動心電図計、体外式ペースメーカー、人工呼吸器、大動脈バルーンポンプ、移送用心電図モニター、血漿交換装置、経皮血中ガス分析装置、生体情報モニタリングシステム
新生児集中治療室 (NICU・GCU)	病床数 NICU 12床、GCU 15床 (主な設備) 人工呼吸器、生体情報モニタリングシステム、経皮血中ガス分析装置、保育器、鼻腔式持続用圧呼吸補助装置、光線治療器、血液分析器、超音波診断装置、クリーンベンチ、乳児用集中治療ベッド
腎センター	(主な設備) 個人用透析装置、多用途透析監視装置、個人用 HDF 装置、持続緩徐式血液浄化装置、全自動熱水薬液消毒対応型 RO システム、浸透圧分析装置、生体情報モニタリングシステム
内視鏡室	(主な設備) 気管支・上部消化管、十二指腸・大腸ビデオオスコープ、超音波内視鏡装置、電子内視鏡システム、高周波焼却装置、内視鏡光源装置、超音波ガストロビデオオスコープ、生体情報モニタ
検体検査室 (生化学、免疫血清、血液、輸血、採血)	(主な設備) 全自動輸血検査装置、多項目血球自動分析装置、全自動血液凝固線溶測定装置、生化学自動分析装置、全自動免疫測定装置、全自動輸血検査装置、遺伝子解析装置、全自動糖分析装置、自動採血管準備装置
一般検査室	(主な設備) 全自動尿中有形成分分析装置、尿検査装置、免疫学的便鮮血分析装置
生理検査室	(主な設備) 心電図情報システム、ホルター心電図解析装置、超音波診断装置、脳波計、呼吸機能自動分析装置
自己血採血室	(主な設備) 自己採血装置、自己血採血チェア、無菌接合装置
血液照射室	(主な設備) 血液照射装置
病理染色室	(主な設備) 自動染色装置、自動免疫染色装置
病理検査室	(主な設備) 自動固定包埋装置、自動染色装置、凍結組織片作成装置、顕微鏡写真撮影装置、ホルマリン対策用フレッシュルーム換気装置、オートスミア

施設名	設備概要
細菌検査室	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性分析システム、全自動血液抗酸菌培養装置、生物顕微鏡システム
病理解剖室	(主な設備) 解剖室1室、解剖用具、オートクレーブ
標本室	(主な設備) 解剖臓器保存室1室
緊急検査室	(主な設備) 臨床生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、尿検査装置、全自動免疫測定装置
一般撮影室	(主な設備) X線撮影装置<Canon FPD(CXDI・島津(UD150-B)>
骨・歯科撮影室	(主な設備) X線撮影装置<Fujifilm-Velocity・CARNEO U>、歯科X線装置、骨密度測定装置
耳鼻・脳外撮影室	(主な設備) 頭部精密X線撮影装置<ORBIX>、天井走行X線撮影装置<島津UD150-B>
循環器撮影室(心臓)	(主な設備) 心血管撮影装置一式 <シーメンス Artis One>
循環器撮影室(腹部)	(主な設備) 床置き全身血管インターベンションシステム装置-DSA <Siemens Artis Zee FA>
第1 CT室	(主な設備) 128列マルチスライスX線CT装置<Siemens SOMATOM Definition AS+ >
第2 CT室	(主な設備) 128列マルチスライスX線CT装置<Siemens SOMATOM Definition AS+ >
第1 MRI室	(主な設備) 磁気共鳴画像診断装置<Siemens MAGNETOM Verio 3T >
第2 MRI室	(主な設備) 磁気共鳴画像診断装置<GE SIGNA EXCITE XL ver.11 1.5T >
第1 X-TV室	(主な設備) 多目的X線テレビ装置<島津 Soniai Vision Safire II>
第2 X-TV室	(主な設備) 多目的X線テレビ装置<島津 Shimavision SV-3500ELT Pro>
第3 X-TV室	(主な設備) 多目的X線テレビ装置<島津 C-Vision 1000>
R I-撮影室 (核医学診断)	(主な設備) 核医学診断装置(シンチレーションカメラシステム) <GE Millenium VG>
乳房撮影室 (マンモグラフィ)	(主な設備) フルデジタル乳房X線撮影装置<Siemens Mammomat Inspiration>
放射線治療室	(主な設備) 高精度放射線治療装置一式<VARIAN TrueBeam 一式>
治療シミュレーション室	(主な設備) CT撮影装置<Siemens SOMATOM Definition AS20>
放射線診断処置室	(主な設備) 画像診断レポートシステム< Fujifilm F-report system>
読影室	(主な設備) 作業台一式 机、椅子、本棚
調剤室	(主な設備) 全自動錠剤分包機、散薬分包機、散薬監査システム、水剤監査ターミナル、注射薬自動払出システム、安全キャビネット

施設名	設備概要
リハビリセンター	(主な設備) CPM エット、起立訓練ベッド、電動昇降式訓練用キッチン、超音波治療器、渦流浴装置ワールプール、昇降式平行棒、電気治療器、調整式作業台、マット訓練台、壁面用肋木、生体情報モニタ、歩行練習用階段、チルトテーブル
研究室 (2 階小会議室)	(主な設備) 机、椅子 定員 10 名
講 堂	(主な設備) 机、椅子、マイク設備、プロジェクター 定員 120 名 室数 1 室 (2 室に分割可能)
図書室	室数 1 室 書籍蔵書 5,000 冊 医学雑誌 210 種
2 階 ミーティング ルーム	(主な設備) 机、椅子 定員 8 名
3 階 第 1 会議室	(主な設備) 机、椅子 定員 30 名
3 階 第 2 会議室	(主な設備) 机、椅子 定員 12 名
医薬品情報管理室	専用室 床面積 27.280 m ²
医療連携等情報 コーナー	(主な設備) 机、椅子、本棚、65 型液晶 TV、ブルーレイレコーダー 定員 24 名
救急用又は患者搬 送用自動車	(主な設備) 保有台数 ワゴン車(日産セレナ) 1 台

注 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記載すること。

(その2) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率	70.6	算定 期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率	71.1		
算出 根拠	A：紹介患者の数（開設者とは直接関係のない他の病院又は診療所から紹介状により紹介された者の数。初診の患者に限る。）		9,194人
	B：初診患者の数		13,006人
	C：逆紹介患者の数（開設者と直接関係のある他の病院又は診療所に紹介した患者を除く。）		9,260人

- 注 1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 2) 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記載すること。
- 3) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。

(その3) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況
救急治療室勤務

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
	(略)				

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
	(略)				

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	6 床
専用病床	0 床

注 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査及び治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急治療室	107.984 m ²	(主な設備) 人工呼吸器、心電計、超音波診断装置、生体情報モニタ、多用途ベンチレーター、除細動装置、経皮的血中ガス分析装置及びパルスオキシメーター	可
手術室	(1) 53.920 m ²	(主な設備) YAGレーザー装置、ELVeSレーザー装置、電気メス、手術顕微鏡、无影灯、各種手術台、全身麻酔器、腹腔鏡下手術装置、内視鏡下手術装置、外科用X線TV装置、超音波白内障手術装置、超音波双方向血流装置、人工心肺装置、経皮酸素ガス分圧測定装置、呼吸監視装置、ステルスステーションシステム S7 (0-arm2・専用手術台含)、コア電動式骨手術装置	可
	(2) 63.220 m ²		
	(3) 99.880 m ²		
	(4) 95.770 m ²		
	(5) 43.560 m ²		
	(6) 57.800 m ²		
集中治療室 (ICU/CCU)	6 床 201.625 m ²	(主な設備) ICUベッド、自動心電図計、体外式ペースメーカー、人工呼吸器、大動脈バルーンポンプ、移送用心電図モニター、血漿交換装置、経皮血中ガス分析装置、生体情報モニタリングシステム	可
新生児集中治療室 (NICU・GCU)	NICU 12 床 127.164 m ²	(主な設備) 人工呼吸器、生体情報モニタリングシステム、経皮血中ガス分析装置、保育器、鼻腔式持続用圧呼吸補助装置、光線治療器、血液分析器、超音波診断装置、クリーンベンチ、乳児用集中治療ベッド	可
	GCU 15 床 71.556 m ²		
腎センター	145.440 m ²	(主な設備) 個人用透析装置、多用途透析監視装置、個人用 HDF 装置、持続緩徐式血液浄化装置、全自動熱水薬液消毒対応型 RO システム、浸透圧分析装置、生体情報モニタリングシステム	可

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
内視鏡室	98.720 m ²	(主な設備) 気管支・上部消化管、十二指腸・大腸ビデオスコープ、超音波内視鏡装置、電子内視鏡システム、高周波焼却装置、内視鏡光源装置、超音波がストロビデオスコープ、生体情報モタ	可
緊急検査室	55.261 m ²	(主な設備) 臨床生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、尿検査装置、全自動免疫測定装置	可
一般撮影室	51.840 m ²	(主な設備) X線撮影装置<CanonFPD(CXDI)・島津(UD150-B)>	可
循環器撮影室(心臓)	54.170 m ²	(主な設備) 心血管撮影装置一式 <シーメンス Artis One>	可
循環器撮影室(腹部)	33.498 m ²	(主な設備) 床置き式全身血管インターベンションシステム装置-DSA <Siemens Artis Zee FA>	可
第1 CT室	32.000 m ²	(主な設備) 128列マルチスライスX線CT装置<Siemens SOMATOM Definition AS+ >	可
第2 CT室	34.500 m ²	(主な設備) 128列マルチスライスX線CT装置<Siemens SOMATOM Definition AS+ >	可
第1 MRI室	40.862 m ²	(主な設備) 磁気共鳴画像診断装置<Siemens MAGNETOM Verio 3T>	可
第2 MRI室	39.521 m ²	(主な設備) 磁気共鳴画像診断装置<GE SIGNA EXCITE XL ver.11 1.5T>	可
放射線治療室	74.725 m ²	(主な設備) 高精度放射線治療装置一式<VARIAN TrueBeam 一式>	可
治療シミュレーション室	64.136 m ²	(主な設備) CT撮影装置<Siemens SOMATOM Definition AS20>	可

4 備考

<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示指定病院 ・災害拠点病院（地域災害医療センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次救急病院群輪番制 ・群馬県地域周産期母子医療センター
--	---

注 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき群馬県知事の救急病院の認定を受けている病院又は救急医療対策の整備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した 救急患者の数	3,081人 (1,496人)
上記以外の救急患者の数	7,223人 (1,583人)
合計	10,304人 (3,079人)

注 1) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記載すること。

2) 括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1 台
---------------	-----

(その4) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 前年度の共同利用の実績

- | | |
|---|--|
| 1 | 前年度において共同利用を行った医療機関の延べ数： 1045 件（H30.4-H31.3）
内訳：CT/470 件、MRI/532 件、RI/42 件、骨塩定量/1 件 |
| 2 | ①の医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数： 1045 件 |
| 3 | 共同利用に係る病床の病床利用率： 0% |

注 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率等を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- | | |
|---|---|
| 1 | 共同利用を行った建物、設備、器械又は器具の名称：
CT・MRI・RI・骨塩定量・講堂・会議室・図書室 |
| 2 | 開放病床： 5床 |

注 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無 別紙1のとおり
 イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名： 宮田 晋一
 職種： 事務

注 共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙2のとおり				

注 当該病院と同一の二次医療圏に所在する医療機関のみ記載すること。

常時共同利用可能な病床数	5 床
--------------	-----

(その5) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

1	医学又は医療に関する講演会（学術講演会）	： 9回
2	地域の医師等を含めた症例検討会	： 12回
3	その他の研修会	： 42回

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	63回
(2) (1)の合計研修者数	2,290人

注 1) 研修は、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものであること。

2) (2)には、前年度の研修者の実数を記載すること。

3 研修の体制

ア 研修プログラムの有無 ・無

イ 研修委員会設置の有無 ・無

ウ 研修指導者

研修指導者 氏名	職種	診療科	役職等	臨床 経験年数	特記事項
(略)					

研修指導者 氏名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨床 経験年数	特記事項
(略)					

注 研修指導者のうち、教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
研究室 (2階小会議室)	26.100 m ²	(主な設備) 机、椅子 定員10名
講 堂	162.960 m ²	(主な設備) 机、椅子、マイク設備、プロジェクター3台 定員120名 2室に分割可能
図書室	110.453 m ²	(主な設備) 書籍蔵書 5,000冊 医学雑誌 210種 1室
2階 ミーティングルーム	13.025 m ²	(主な設備) 机、椅子 定員8名
3階 第1会議室	42.370 m ²	(主な設備) 机、椅子 定員30名
3階 第2会議室	19.909 m ²	(主な設備) 机、椅子 定員12名
医療連携等情報コーナー	51.490 m ²	(主な設備) 机、椅子、本棚、65型液晶TV、ブルーレイ レコーダー 定員24名
研修医室	64.245 m ²	(主な設備) 机、椅子 定員12名

(その6) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	院長 桑島 信		
管理担当者氏名	医事課 診療情報管理係 古舘 千秋		
記録の種類	保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方箋、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状及び退院し	1. 病院日誌(総務課) 2. 各種診療日誌(看護部) 3. 医療記録 (電子カルテデータとして	電子カルテデータ (1患者1ID:入院外来同一ファイル)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総務課	
	閲覧実績	地域医療連携室	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

注1) 「保管場所」欄には、当該記録を保管する部署名を記載すること。

2) 「診療に関する諸記録」については、個々の記録について記載する必要はなく、諸記録の分類方法及び全体としての管理方法の概略を記載すること。

(その7) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	地域医療連携室 係長 宮田 晋一
閲覧担当者氏名	地域医療連携室 主事 吉田 宗紀
閲覧の求めに応じる場所	地域医療連携室 (相談室)
<p>閲覧の手続の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 記録の閲覧をしようとする者は、事前に諸記録閲覧申請書を地域医療連携室に提出する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録医療機関等からの申し出 ・ 諸記録の検索 ・ 院内のルールに基づき閲覧 ・ 閲覧要綱:有 <p style="text-align: center;">※ 閲覧の実績 0件</p>	

前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

注 閲覧件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

(その8) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1 回	桐生厚生総合病院地域医療支援委員会
委員会における議論の概要		
<ul style="list-style-type: none">・開催日 : 平成 30 年 8 月 2 日 (木)・開催場所 : 桐生厚生総合病院 2 階講堂 (小)・協議内容 : 地域医療向上について<ol style="list-style-type: none">1 紹介患者に対する医療の提供2 共同利用3 救急医療4 地域医療従事者の研修会等		

注) 委員会の開催回数及び委員会における議論の概要 (開催日、開催場所、協議事項、報告事項等) については、前年度のものを記載すること。

(その9) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（相談支援センター）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師、社会福祉士、臨床心理士
患者相談件数	4, 517件（H30.4-H31.3）
患者相談の概要	
<p>1 相談の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院・施設に関する事 ・入院療養生活に関する事 ・虐待・暴力に関する事 ・医療費に関する事 ・住居に関する事 ・遺族に関する事 ・受診・入院に関する事 ・心理・情緒に関する事 ・復職・復学に関する事 ・経済的問題に関する事 ・退院に関する事 ・その他 ・在宅ケア ・家族関係に関する事 ・情報提供に関する事 ・理解促進に関する事 ・がん相談に関する事 <p>② 相談に基づき講じた対策等 上記に対して適切な助言、調整、情報提供等支援を行った。 また、必要に応じ関係機関との連携を取り、支援を行っている。</p> <p>※ 平成25年度から退院支援担当看護師が専従として配置されたため、療養生活中おこる看護上の問題や療養環境の調整等看護師への相談対応がより構築された。</p>	

注 1) 患者相談件数については、前年度の延べ件数を記載すること。

2) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

(その10) その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名及び評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 (機能種別版評価項目 一般病院2 (3rdG:Ver.2.0)) 平成29年11月18日 (平成29年11月18日-令和4年11月17日)	

注 病院の機能に関する第三者による評価は、公益財団法人日本医療機能評価機構等によるものであること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ 地域医療連携情報紙 市民対象・医療関係者対象の講演会、研修会、勉強会 (ハッピー健康相談室等) 地域情報紙への健康に関する情報提供 広報誌 (院外広報・薬剤部情報紙・臨床検査情報紙) 構成2市 (桐生市、みどり市) の広報紙	

3 退院調整部門

退院調整部門の有無	有・無
・退院調整部門の概要 入院早期から退院支援の必要な患者をスクリーニングにより抽出し、在宅、施設、転院のいずれかへ地域との連携を図りながら調整を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定	有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 5大がん連携パス (群馬県がん診療拠点病院共通パス) 胃がん・大腸がん・肺がん・肝臓がん・乳がん 脳卒中地域連携パス	
・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 連携登録医への説明及び資料配付 市民公開講演開催 年2回 (がんに関する講演) がん患者サロン開催 月1回 緩和研修会開催 年1回 (地域医療従事者含む) 病診連携会議開催 年2回 脳卒中連携パス検討会開催 (年2回)	
がん相談支援センター設置 群馬脳卒中医療連携の会参加 (年3回) ・地域医療勉強会 年3回 その他研修会及び検討会を実施 (地域の医療従事者向け)	